

官民連携を通じた実質的広域化スキーム ～課題と方策①～

課題 1. 担い手の形成

- 我が国水道事業の歴史・特徴等ふまえ複数且つ段階的な形成を期待

担い手のイメージ

1

「大都市」自身が民営化して形成する事業体

2

「中核都市」が民間と連携して形成する官民協働事業体

3

国内の民間事業者同士が連携して形成する事業体

4

国外の民間事業者が主導して形成する事業体

官民連携を通じた実質的広域化スキーム ～課題と方策②～

課題 2. 官民の適切な役割・リスク分担

- 水道法改正（H29.3.7閣議決定済）が実現すれば、**公共が水道事業者のままでコンセッション活用が可能となる見込み**
- 更に、将来的には**地域の実情に応じた官民の適切かつ柔軟な役割・リスク分担**を可能とする、より骨太な制度設計が望まれる

事業者区分と官民の適切な役割・リスク分担のイメージ

第一種事業者

自ら保有する施設をもって水道事業運営

第二種事業者

他者が保有する施設を用いて水道事業運営（＝「店子」）
地域の実情に応じ、第三種事業者と役割・リスク分担

第三種事業者

自ら保有する施設を他者に使用させ運営（＝「大家」）
第二種事業者と役割・リスク分担しつつ、モニタリング実施

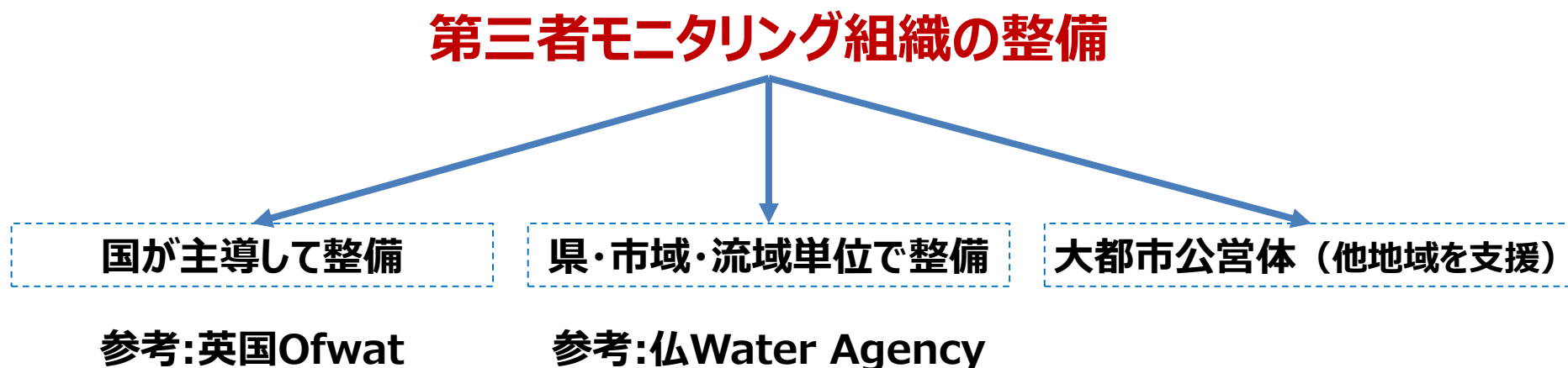
	第一種	第二種	第三種
モニタリング業務	－	－	○
経営部門 ・各種計画決定 ・人事総務、財務 等	○		↑
経営部門支援 ・各種計画策定 等	○		
危機管理対応	○		
設計建設業務	○		
営業業務	○		
維持管理業務	○		

地域の実情に応じ、分担

官民連携を通じた実質的広域化スキーム ～課題と方策③～

課題 3. モニタリング組織の整備

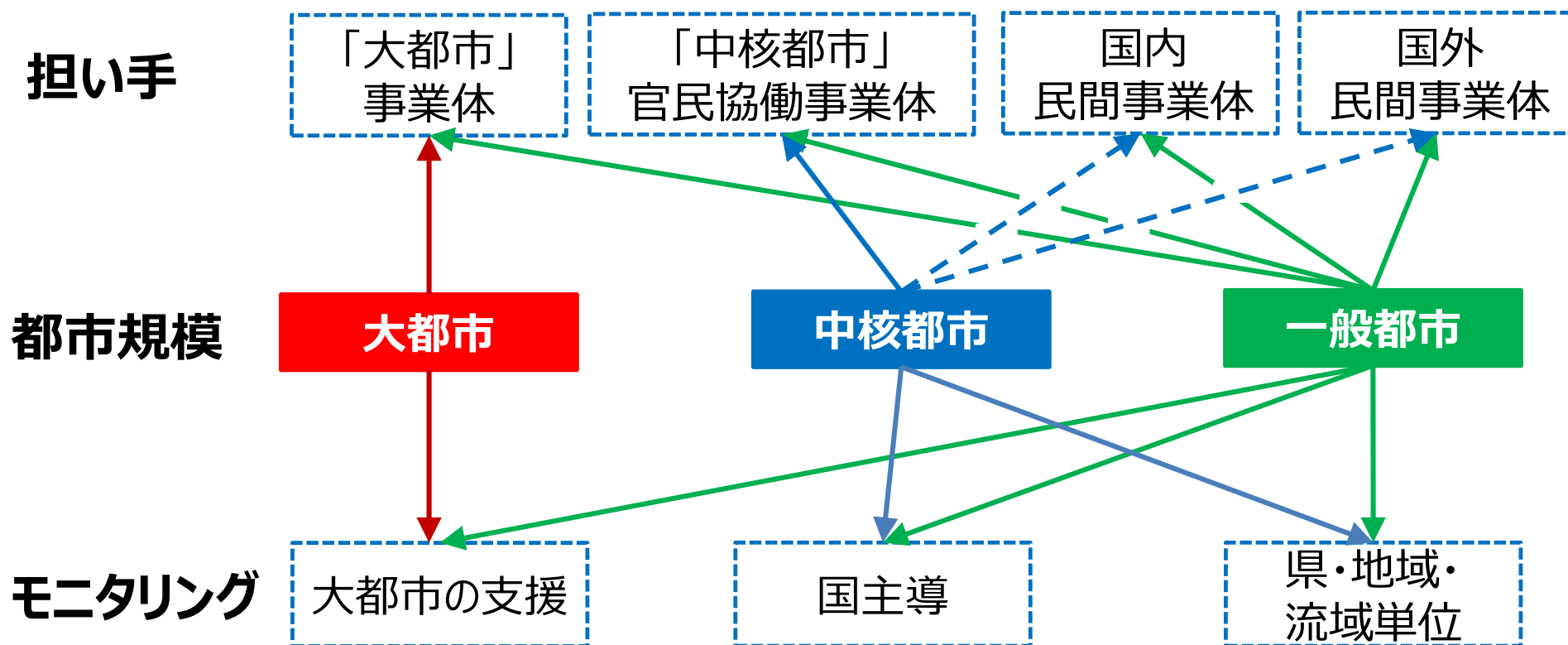
- 高い技術力・公平性を有する**第三者モニタリング組織**が整備されることも重要
- 更新投資の必要性を踏まえた**水道料金値上げの妥当性や、経営の健全性等を当該機関がチェック**する仕組みにより、官民連携等を通じた安全・安心な水道事業の推進が期待



3. 地域の課題・実情に応じた取り組みの必要性和将来ビジョン

地域・都市規模別のソリューション ～イメージ～

- 各事業体は、地域の課題・実情に応じ早期に官民連携と広域化に踏み出すことが重要
- まずは地域の関係者で、**単体・直営形態における将来の厳しい絵姿や、「料金値上げ等の地域の負担を“抑制”する意味での官民連携のメリット」**等をしっかり共有することが重要



広域的官民水道事業体を通じた我が国水道事業の再構築 ～イメージ～

- 将来的には、複数の類型による官民水道事業体が各地域の中核的担い手として**広域事業体に発展**し、国内水道事業再構築の一翼を担うことが期待

複数の官民水道事業体形成と広域展開イメージ

